

白衣を戦争の血で染めさせない大阪



「二度と戦場で、白衣を血で染めさせない」と宣伝する参加者＝8日、大阪市

戦争法案反対 医師らが訴え

師・歯科医師緊急アピール」を発表し、街頭宣伝を行いました。

大阪府の保険医協会と
歯科保険医協会は8日、
大阪市内で「安全保障関
連法案に反対する大阪医
師・歯科医師緊急アピ
ール」を発表し、街頭宣
伝を行いました。

もに、法案の廃案を強く
求め、廃案に追い込む活
動を広く呼びかける」と
しています。

記者会見には、府保険

医協会の高本英司理事
長、府歯科保険医協会の

小澤力理事長らが出席。

高本氏は、「命を守る医
師・歯科医師として、法
案を国会の数でもって成
立させることには断固反
対し、抗議していきたく
い」と語りました。アピ
ールを発表した井上賢二

府保険医協会副理事長
は、賛同者が540人
(8日現在)になったこ
とを紹介しました。大阪
弁護士会憲法問題特別委
員会の武村二三夫委員長
があいさつしました。

北区淀屋橋の宣伝には
白衣を着た医師ら30人が
取り組みました。医師ら
が次々とマイクを持ち、
「違憲という憲法学者が
ほとんどです。違憲性が
明確になった戦争法案は
廃案しかない」「命を守
る医師は、命を奪う戦争
には断固反対していきま
す」と訴えました。